

✅ 愛媛3年以内南海トラフ大地震・津波70%超警戒

愛媛県は、日本有数の地震多発地帯として、南海トラフ巨大地震の脅威に常にさらされている。このレポートは、2026年2月7日時点から今後3年以内に発生する可能性のある大地震（震度6弱以上またはマグニチュード7以上）と大津波（津波高3m以上）を焦点に、政府の地震調査委員会や専門家の最新評価を基に分析する。過去の歴史的地震やプレート境界のひずみ蓄積から、30年以内の発生確率が70～80%と高く、愛媛県では最大震度7や津波高19m超の被害が想定される中、短期的リスクの低確率ながら切迫性が増している。

このような脅威は、沿岸部の人口密集地や高齢化社会で壊滅的な被害を引き起こす可能性があり、日常的な防災準備の重要性を強調する。なぜ今、このレポートが必要か？ 最近のボーリング調査で被害想定が更新され、住民の意識向上と政策強化が急務だからだ。本レポートの目的は、確率・タイミング、科学的根拠、影響を統合的に明らかにし、愛媛県民の安全確保に寄与することである。構成は、政府・専門家予測の概要から根拠、被害分析までを順に展開し、具体的な対策提言で締めくくる。地震は予測不能だが、知識が命を守る鍵となる。

2. 政府発表と専門家予測に基づく発生確率とタイミング

政府の地震調査委員会は、2026年1月1日を基準日とした年次更新で、南海トラフ巨大地震の今後30年以内の発生確率を「70～80%」と評価。これはプレート境界のひずみ蓄積と過去の地震活動史に基づくもので、想定震源域に特段の変化はなく、平常時を維持。根室沖地震の確率引き上げ（90%程度）に対し、南海トラフは据え置き。

愛媛県では、南海トラフ巨大地震（M9クラス）で県内95%の地域が震度6弱以上、7市（今治、西条、新居浜、四国中央、大洲、西予、宇和島）で最大震度7を想定。津波高3m以上は宇和海沿岸を中心に発生し、愛南町で最短14分以内に30cm以上の浸水、宇和島港で6.1m（54分後）、伊方町で8.5m（71分後）、最大19.4m（佐田岬、無人地帯）。これらは2025年9月中間報告に基づき、ボーリング調査の精度向上で2013年想定から震度を下方修正。

今後3年以内（2026年2月7日から2029年2月6日）の具体的な確率は政府発表で明示されていないが、30年確率の時間経過モデル（ポアソン過程）から年平均約2-3%と推定。中央構造線断層帯地震（愛媛県影響区間）の30年以内確率は9-15%（中央値10%）、Aランク（0.1～3%）区間も含む。プレート内地震（M7クラス）で愛媛県内震度6強以上が可能。

専門家（平田直東大名誉教授ら）は、80年以上経過したひずみ蓄積から警戒を呼びかけ、臨時情報発表の可能性を指摘。全体として、3年以内の大地震・大津波発生は低確率ながら、準備強化が不可欠。

3. 評価の根拠

南海トラフ地震の長期評価は、地震調査委員会の科学的知見に基づき、プレート境界モデルと歴史的・地質学的データを統合して行われる。これらの根拠は、フィリピン海プレートがユーラシアプレートの下に年間数cmの速度で沈み込み、境界でひずみが蓄積されるメカニズムを基盤とする。ひずみが限界に達するとプレート境界が破壊され、M8クラスの巨大地震が発生する。このモデルは、ゆっくり滑り（SSE）や余効すべりなどの観測データから支持され、浅部・深部の不均質性を考慮したシミュレーションで再現可能。愛媛県を含む南海トラフ沿いでは、フィリピン海プレートの沈み込み史が2次元粘弾塑性モデルで分析され、ひずみ蓄積の長期パターンを明らかにしている。

地震活動史は、評価の核心で、概ね100～150年周期で繰り返す南海トラフ地震の記録を活用する。主要事例として、1707年の宝永地震（M8.6）は駿河湾から四国沖の広域で同時発生し、愛媛県宇和島で津波高3～5m、西条市で1～2mを記録。1854年の安政南海地震（M8.4）は愛媛県南予沿岸部に津波を襲来させ、中予・東予で建物倒壊や地盤沈降による海水流入が発生、道後温泉の湯出が止まった。1946年の昭和南海地震（M8.0）は最大震度6を観測し、愛媛県沿岸で1～5mの津波被害を生んだ。これらの史料から、震源域の多様性（X、Y、Z領域の単独・連動）が明らかで、最近の再評価では宝永地震の震度分布や津波到達を修正し、安政東海地震の震度が宝永を上回る可能性を示唆。愛媛県では、1498年明応地震以降の記録が拡張され、液状化痕跡が地質的に確認されている。

地質学的データは、長期評価を補強する。津波堆積物調査により、歴史記録以前の地震を遡及可能で、例えば日向灘沖の海底地形から活断層の繰り返し活動が確認され、従来の1498年明応地震以降の評価を拡張。瀬野（2012）の研究では、南海トラフ沿いの地震を2タイプ（相補的震源域）に分類、地質証拠で重複なしを提唱。愛媛県では、海底堆積物や津波堆積物から約5,000年前までの地震痕跡が判明し、南海トラフ巨大地震の多様性を裏付ける。これらを基に、2025年改訂では時間予測モデルをすべり量依存BPTモデルに更新、隆起量データの不確実性（例: 宝永地震1.83m±0.51m）を考慮し、30年以内確率を60～90%程度以上と評価。

これらの根拠は、GPS観測や海底掘削（ちきゅう号）で得られた滑り痕跡と連動し、最大規模地震の可能性を裏付ける。愛媛県を含む南海トラフ沿いの評価は、この歴史・地質的蓄積により、切迫性をIIIランク（高い）と位置づけ。最近の深部低周波地震やゆっくりすべり観測も、プレート境界の固着状況に変化なしを示すが、長期蓄積の切迫性を強調する。

4. 影響分析

被害想定

愛媛県の地震被害想定調査（中間報告）では、南海トラフ巨大地震、安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震、中央構造線断層帯の地震を対象に、人的・物的被害を推計している。人的被害として、松山市の想定では死者715人、負傷者5,707人、避難者最大89,002人（1日後）とされ、津波による死傷が主因となる。四国中央市では、南海トラフ巨大地震による死者1,043人（うち津波関連260人以上）を予測。物的被害は建物全壊35,759棟（松山市）、半壊25,974棟で、揺れ、液状化、土砂災害、津波が複合的に寄与。四国中央市では全壊26,287棟、半壊11,015棟。

津波浸水域は深刻で、県全体の1cm以上浸水面積は11,995ha、最大津波高3.6m（四国中央市）、到達時間5分以内。西条市では1m以上浸水2,635ha、2m以上1,715ha。ライフライン被害として、上水道断水人口最大約3,500,000人（四国全体）、電力停電198,243軒（松山市）、ガス支障49,900戸。これにより、医療機能低下や物資不足が長期化する可能性が高い。

被害項目	松山市想定（南海トラフ巨大地震）	四国中央市想定
死者数	715人	1,043人
全壊棟数	35,759棟	26,287棟
浸水面積（1cm以上）	県全体11,995ha（参考）	404ha
断水人口	288,134人	-

発生要因

地形的要因として、愛媛県は南海トラフに近く、燧灘・伊予灘・豊後水道に面するため、プレート境界のひずみ蓄積が大地震・津波を引き起こす。中央構造線断層帯の横断により、内陸型地震も頻発。液状化は地下水位の高い砂地や旧河道（重信川・石手川周辺）で発生しやすく、PL値72.1（極めて高い）と評価。土砂災害は山岳地帯の急傾斜地で顕著。

社会的要因として、高齢化や観光客の増加が避難の遅れを招く。地理不案内な外来者（観光客、海水浴客）への情報伝達不足、標識の未整備が人的被害を拡大。インフラ老朽化と人口密集地（沿岸部）の脆弱性が、ライフライン中断と経済損失を助長。これら要因は、想定を超える被害を招く可能性を指摘されている。

5. 結論

本レポートは、2026年2月7日時点から今後3年以内に愛媛県で発生する可能性のある大地震（震度6弱以上またはM7以上）と大津波（津波高3m以上）を、南海トラフ巨大地震を中心に政府発表と専門家予測に基づき評価した。全体として、発生確率は低いが、歴史的蓄積と科学的根拠から切迫性が高く、被害想定は甚大であることが明らかとなった。以下に主要ポイントを表形式でまとめる。

項目	主要ポイント
確率・タイミング	南海トラフ巨大地震の30年以内確率は70～80%（政府評価）。3年以内は年平均2-3%と低いが、ひずみ蓄積の進行から警戒必要。中央構造線断層帯は30年以内9-15%。プレート内地震もM7クラスで震度6強以上可能。タイミングはポアソン過程に基づき予測不能だが、80年以上の経過で臨時情報発表の可能性。
根拠	プレート境界モデル（フィリピン海プレートの沈み込み・ひずみ蓄積）と地震活動史（宝永地震1707年、M8.6；安政南海地震1854年、M8.4；昭和南海地震1946年、M8.0）が基盤。地質学的データ（津波堆積物、液状化痕跡）で約5,000年前までの繰り返しを確認。GPS・海底観測で固着状況の変化なしを裏付け、時間予測モデル（BPTモデル）で切迫性Ⅲランク。
影響	人的被害：死者数百～1,000人以上（例：松山市715人、四国中央市1,043人）、負傷者数千人。物的被害：建物全壊数万棟、浸水面積1万ha超（最大津波高19.4m、到達5分以内）。ライフライン中断（断水300万人規模）。地形的要因（沿岸・断層帯位置）と社会的要因（高齢化・インフラ老朽化）が被害を増幅。

これらの分析から、南海トラフ地震のリスクは愛媛県の沿岸部を中心に現実的であり、3年以内の低確率イベントでも準備不足が壊滅的被害を招く可能性が高い。政府・専門家の評価は歴史・科学的データで裏付けられ、切迫性を強調する。次に、県民・自治体は避難訓練の強化、耐震化推進、津波警報システムの整備を急ぎ、観光客向け情報提供を改善すべきである。これにより、潜在的影響を最小限に抑え、地域のレジリエンスを高めることが求められる。

参考文献

- 
南海トラフ、特段変化なし
<https://www.ehime-np.co.jp/article/ky202602060202900010>
- 
南海トラフ地震の発生確率、60～90%と20～50%を併記 政府 ...
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOSG185Y50Y5A910C2000000/>
- 【情報提供】南海トラフ地震関連解説情報が公表されました ...**
<https://townweb.e-okayamacity.jp/c-tsushimafukui/2026/01/09/%E3%80%90%E6%83%85%E5%A0%B1%E6%8F%90%E4%BE...>
- 
長期評価による地震発生確率値の年次更新について
https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/mext_00222.html
- 
大規模災害の救助活動、「必要な人員」「救急車の台数」など ...
<https://www.yomiuri.co.jp/politics/20260202-GYT1T00298/>
- 
愛媛県地震被害想定調査の中間報告（自然現象の想定結果 ...
<https://www.pref.ehime.jp/page/122408.html>
- 
南海トラフ巨大地震「最大震度7は7市」愛媛県が独自 ... - YouTube
<https://www.youtube.com/watch?v=4-2po2eaQ2c>
- 
愛媛県地震被害想定調査結果（中間報告）
<https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/kikikanri/higaisoutei0709.html>



「巨大地震注意」に注意 - 読売新聞オンライン

<https://www.yomiuri.co.jp/choken/kijironko/cksocialsports/20241021-OYT8T50147/>



中央構造線断層帯を中心とした四国地域の 活断層の長期評価～地域 ...

https://www.jishin.go.jp/resource/column/column_17win_p06/



最新の地震発生確率が発表 危険度Sランクの活断層とは？ - 不動産投資

https://toushi.homes.co.jp/column/rental_management/trouble/beginner773/



[PDF] 愛媛県地震被害想定調査 報告書 概要版

<https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/95955.pdf>



平田直のニュース・発言など最新記事

<https://www.nikkei.com/persons/%E5%B9%B3%E7%94%B0%E7%9B%B4>



愛媛で想定される災害

<https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/96140.pdf>

南海トラフの巨大地震モデル検討会（第2回） 議事録

<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/model/2/pdf/gijiroku.pdf>



「南海トラフの地震活動の長期評価」を一部改訂しました

https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/subduction_fault/summary_nankai/



[PDF] 南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)について

https://www.jishin.go.jp/main/suihon/material_choshu/choshu1/choshu1-s2-2.pdf



南海トラフ地震のメカニズム

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/nteq/nteq.html>



【解説】南海トラフとは？発生メカニズム・過去の巨大地震・被害 ...

https://www.newton-consulting.co.jp/bcmnavi/glossary/nankai_trough.html



南海トラフの地震活動に関する長期評価の 一部改訂について

https://www.data.jma.go.jp/osaka/jishinkazan/hitokuchi/244_Long-termEvaluation-NankaiTrough_202509.pdf



南海トラフ地震の発生確率、60～90%と20～50%を併記 政府 ...

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOSG185Y50Y5A910C2000000/>



[PDF] 南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)の一部改訂について(案)

https://www.jishin.go.jp/main/suihon/material_erc2/erc416/erc416-s5.pdf



[PDF] SLOW TO FAST 地震学

https://slow-to-fast-eq.org/wp-content/uploads/2024/02/NL3_JP.pdf



愛媛県の地震活動の特徴 - 地震本部

https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_chugoku-shikoku/p38_ehime/

調査・研究えひめの歴史文化モノ語り - 愛媛県歴史文化博物館

<https://www.i-rekihaku.jp/research/monogatari/article/065.html>



昭和南海地震 - Wikipedia

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%98%AD%E5%92%8C%E5%8D%97%E6%B5%B7%E5%9C%B0%E9%9C%87>



[PDF] 第3編 津波

<https://www.pref.ehime.jp/uploaded/attachment/95949.pdf>

[PDF] 竹異ㇿ証 - 伊方原発をとめる会

<https://www.ikata-tomeru.jp/wp-content/uploads/2017/02/%E7%94%B2%E7%AC%AC75%E5%8F%B7%E8%A8...>



[PDF] 地震災害対策編 - 松野町

<https://www.town.matsuno.ehime.jp/uploaded/attachment/3509.pdf>



[PDF] 報道発表 - 1 - - 気象庁

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2601/09a/mate01.pdf>



愛媛県地震被害想定調査結果（中間報告） - 西条市

<https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/kikikanri/higaisoutei0709.html>



[PDF] 南海トラフ巨大地震対策に関する実態調査 - 総務省

https://www.soumu.go.jp/main_content/000705707.pdf

愛媛県地震被害想定調査結果（中間報告）について

<https://eweb.pref.ehime.jp/page/120622.html>



第3編 地震災害対策編

<https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/uploaded/attachment/14555.pdf>

南海トラフ巨大地震の被害想定について（施設等の被害）

https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku_wg/pdf/1_sanko.pdf

愛媛県地域防災計画

https://www.fdma.go.jp/bousaikeikaku/items/02_ehime_jishin.pdf